

観音物語 (18) 神通力

ぐ そくじんつう りき こうしゅう ち ほうべん じっほうしよこくど む せつ ぶ げんしん
具足神通力 広修智方便 十方諸国土 無刹不現身

神通力を具足し 広く智方便を修して 十方の諸の国土 刹として身を現ぜざること無し

神通力が効いていない家へ友だちがケーキを持って行った。

「ごめんください」

奥からテレビの音がするけれども、いくら呼んでも玄関へ出てこない。ドアが開くので勝手にあがってみた。居間でテレビを見ているお母さんがいた。

「まあ、みほちゃん！ なんの用？」

「ケーキを持ってきたの」

「別に頼んでいないよ」

「あれ、今日はまこちゃんの誕生日でしょう？」

次に、神通力が効いている家へケーキを持って行った。

「ごめんください」

「はい」

「こんにちは。ケーキ持ってきました」

「まあ、まこのバースデーケーキね。みほちゃんありがとう、まこよろこぶわ」

家族がそれぞれの時間に起床し、朝食の準備、通学、出勤している状態そのものが神通力である。もしも神通力が働いていなければ、起こしたり、食事を要求したり、通学や出勤を催促したりしなければならぬ。黙っていてもそれぞれが、それぞれの時間に行なうことがわかっているから、何もいわなくても家族はそれぞれの時間に活動を始めている。これが神通力である。もしも母に神通力がなければ、「早く起きなさい」「早く食べなさい」「早くしないと学校に遅れるでしょう」と、「早く、早く」の連発である。

これは、会社でも同じである。「早く書類を出してほしい」「早く注文を取ってほしい」「早く作らなければ間に合わない」の催促である。上司に神通力が効いていれば、部下に確認をすることもなく、企画の通りに仕事が運ばれていく。

観音さまの神通力には六種類ある。

- ①神足通は自分の思うところへ瞬時に移動できる速力である。
- ②天眼通は普通には見えないものが見える眼力である。
- ③天耳通は普通には聞こえないことを聞き取る地獄耳である。
- ④他心通は他人の心が読める直感力である。
- ⑤宿命通は過去の宿業による運命を知ることができる霊力である。
- ⑥漏盡通は人々の煩惱を断じることができる法力である。